

「(仮称)ずっと元気な山口プラン」の策定方針について

(次期山口市総合計画)

1 山口市総合計画について

総合計画は、本市が総合的かつ計画的にまちづくりを推進するための指針であり、本市の最上位計画となります。
第二次山口市総合計画（計画期間：平成30年度～令和9年度）の計画期間が満了することから、令和10年度からのまちづくりの指針とするための「(仮称)ずっと元気な山口プラン」（次期山口市総合計画）を策定します。
総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実行計画」で構成し、とりわけ、まちづくりの方向性と政策等を示す基本構想は、行政だけでなく地域社会全体で目標を共有する公共計画として策定します。

基本構想

計画期間

10年間

本市の目指すべき将来都市像、まちづくりの基本的な方向性を示す「公共計画」（議決対象）

基本計画

計画期間

5年間

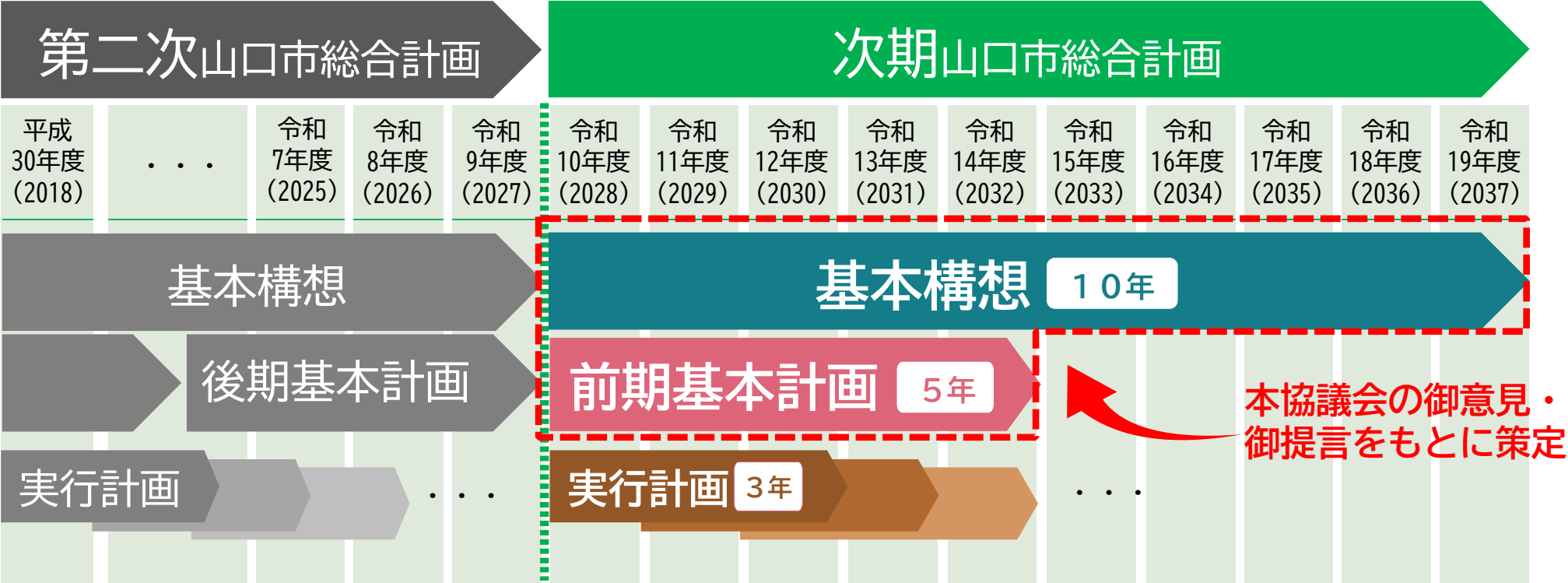
基本構想を具体化し、将来都市像を実現するために必要な基本的な取組を示す計画

実行計画

計画期間

3年間

基本計画に基づき、施策・事業の優先度や財政状況に応じて、具体的な事業を年度ごとに示す計画



2 現在の山口市総合計画の基本構想について

(1) 目標とする将来都市像

将来都市像

豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口
～これが私のふるさとだ～

「住んでみたい 住み続けたい」と思える山口を、地域社会全体で、共に創っていくための共通の目標



中原中也の詩の一節「これが私の故里だ」

➡ 山口市は「これが私のふるさとだ」

市民一人一人がまちづくりに関わることで、まちへの誇りと愛着を育んでいただくことを、まちづくりへの思いとして表現しています。

将来都市像を実現するための都市政策の2つの柱

広域県央中核都市づくり

個性と安心の21地域づくり

広域県央中核都市づくり

広域経済・交流圏



山口都市核づくり

長い歴史の中で積み重ねてきた行政、文化、教育、商業、観光等の都市機能や既存ストックを更に高めるまちづくり

(湯田温泉の再生整備、中心市街地活性化 など)

小郡都市核づくり

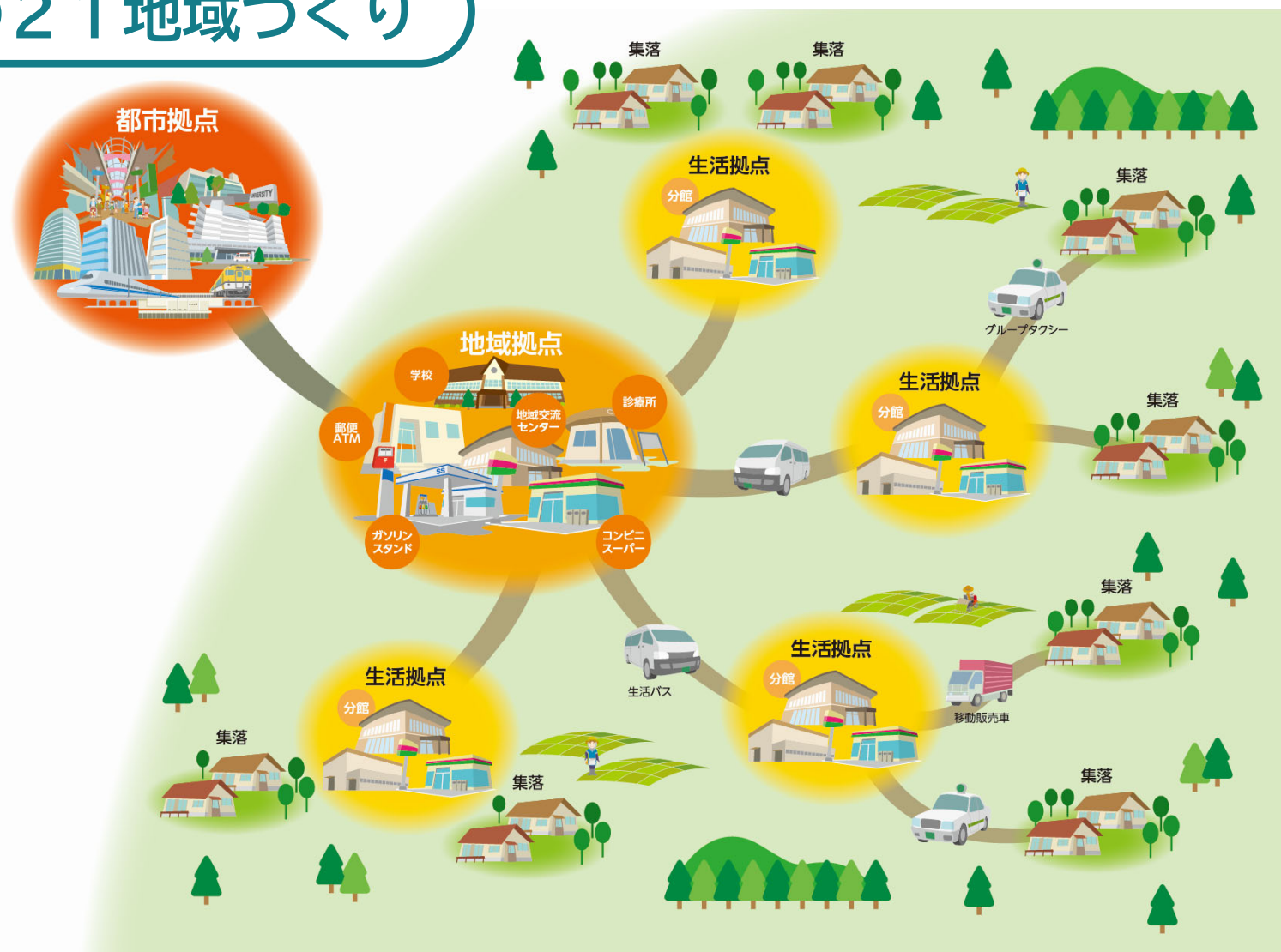
県の玄関にふさわしい交通結節やアクセス機能の強化を図り、新たな交流や広域的な経済の拠点としての都市空間を形成

(新山口駅ターミナルパーク整備事業、山口市産業交流拠点施設整備 など)

異なる特性を備えた2つの都市核

高次の都市機能を集積し、
市内や山口県央連携都市圏域等に
都市サービスを提供し続けられるまちづくり

個性と安心の21地域づくり



一定の生活関連機能を維持・集積するための拠点形成とネットワーク化により、
暮らしやすい、安心の定住環境を確保するまちづくり

(地域交流センターの整備・機能強化、総合支所と地域交流センター等の一体整備 など)

(2) 目指すべき都市構造等

目指すべき
都市構造等

重層的コンパクトシティ
～好影響・好循環のまち～

山口・小郡両都市核を中心とした「都市拠点」、市内21地域の地域交流センター等を中心とした「地域拠点」等を道路ネットワーク等でつなぎ、それぞれの役割分担の下で連携・補完が可能なまちの姿

重層的コンパクトシティ

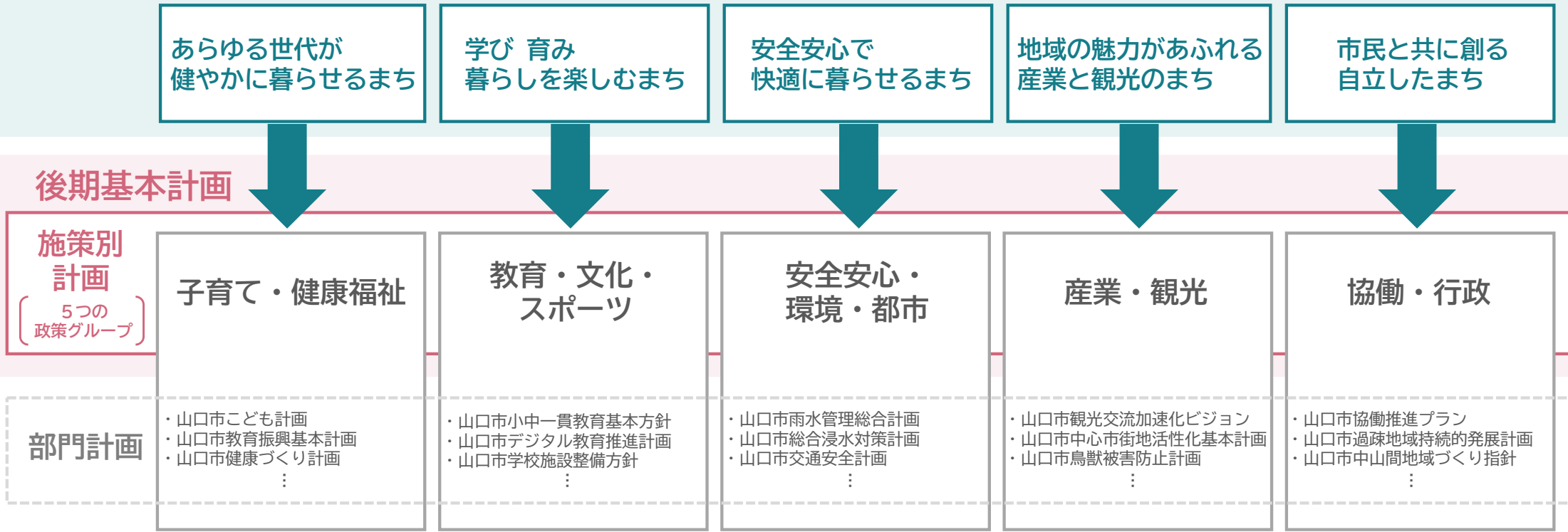
● 都市拠点 ● 地域拠点 ● 生活拠点



市内のあらゆる地域において、安心して住み続けられる都市構造を目指す

(3) 目指すまちの姿

5つの目指すまちの姿



施策を横断し、重点的に対応すべき取組を、6つの重点プロジェクトとして基本計画に位置付けています。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 重点PJ ① 子ども・子育て全力応援のまちづくり | 重点PJ ④ 21地域づくりと農山村活性化 |
| 重点PJ ② 若者活躍と雇用創出の環境づくり | 重点PJ ⑤ 元気な県都づくり |
| 重点PJ ③ 人生100年時代の元気活躍のまちづくり | 重点PJ ⑥ 持続可能な未来都市づくり |

(4) 数値によるまちの姿

第二次山口市総合計画における基本構想では、目標年次の令和9年度におけるまちの姿を、数値によるまちの姿として、「人口（定住人口）」、「交流人口」、「ふるさと指標」の3つで表しています。

人口（定住人口）

目標年次（令和9年度）におけるまちの姿

約19万人

基準値：196,517人（平成29年10月1日時点）

新幹線駅や周産期医療、大学等の高次の都市機能を維持するためには一定程度の人口規模が必要

達成

基準値 平成29年 (2017年)	実績値		目標値 令和9年 (2027年)
	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	
196,517人	193,966人	190,438人	約19万人 維持

令和2年(2020年)は令和2年国勢調査、令和7年(2025年)は令和7年国勢調査人口速報集計の数値。

交流人口

目標年次（令和9年度）におけるまちの姿

600万人／年

基準値：471万人／年（平成28年）

人口減少時代にあっても
発展を続けていくためには
「人・モノ・資金・情報」を
市外県外から呼び込み、
市内で循環させることが必要

おおむね 達成 見込み

基準値 平成28年 (2016年)	実績値								目標値 令和9年 (2027年)
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	
471万人/年	612万人/年	516万人/年	304万人/年	336万人/年	408万人/年	508万人/年	535万人/年	568万人/年	600万人/年

ふるさと指標 ※ ～豊かさの指標化～

目標年次（令和9年度）におけるまちの姿

80.0ポイント以上

基準値：77.4ポイント（平成29年）

豊かな暮らしを目標とする中で
市民の皆様の豊かさを
数値として図るため

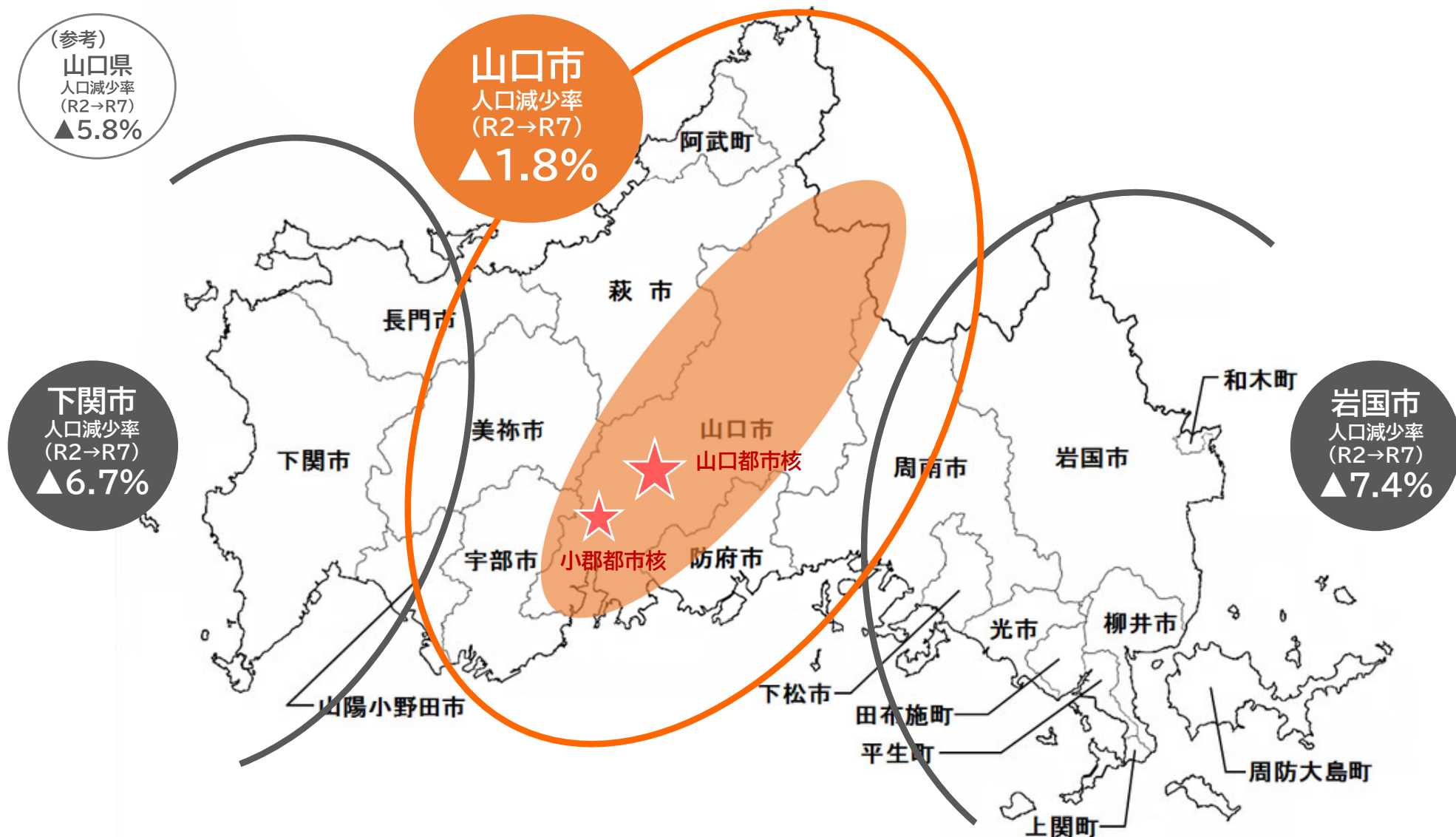
※ ふるさと指標：
本市で暮らす「豊かさ」を包括的に捉える指標として、
市民の皆様が感じる本市への愛着や誇り、心の豊かさ、
まちの豊かさを独自にスコア化したもの

おおむね 達成 見込み

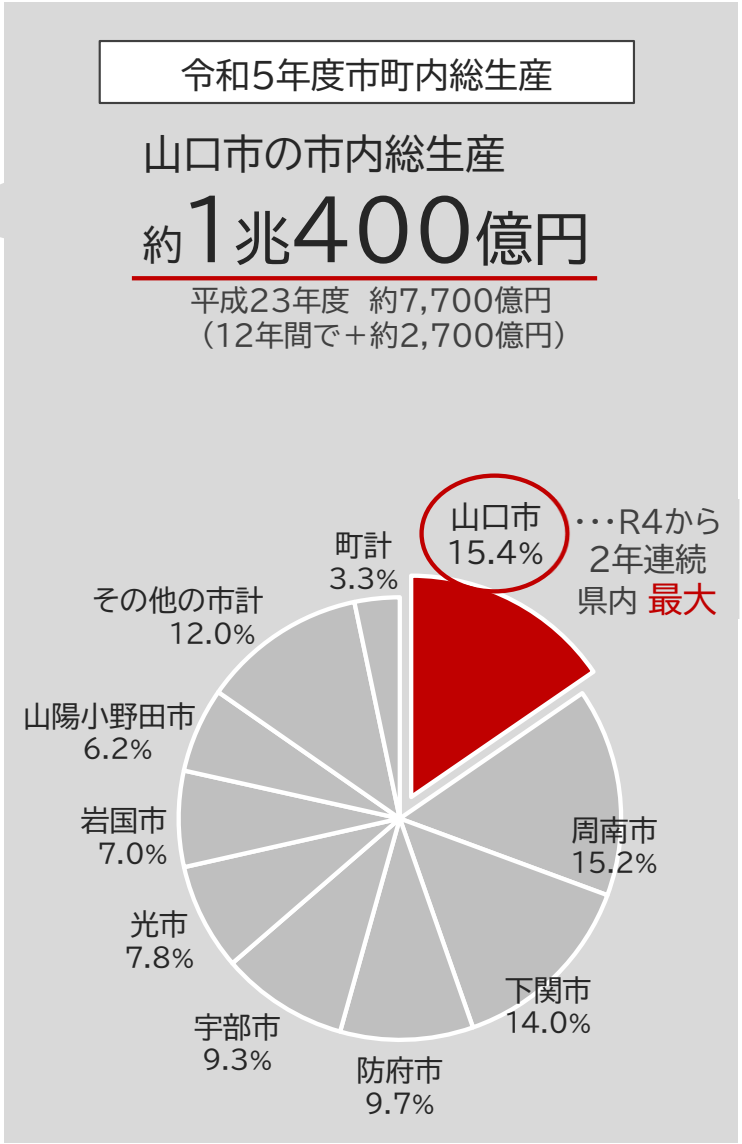
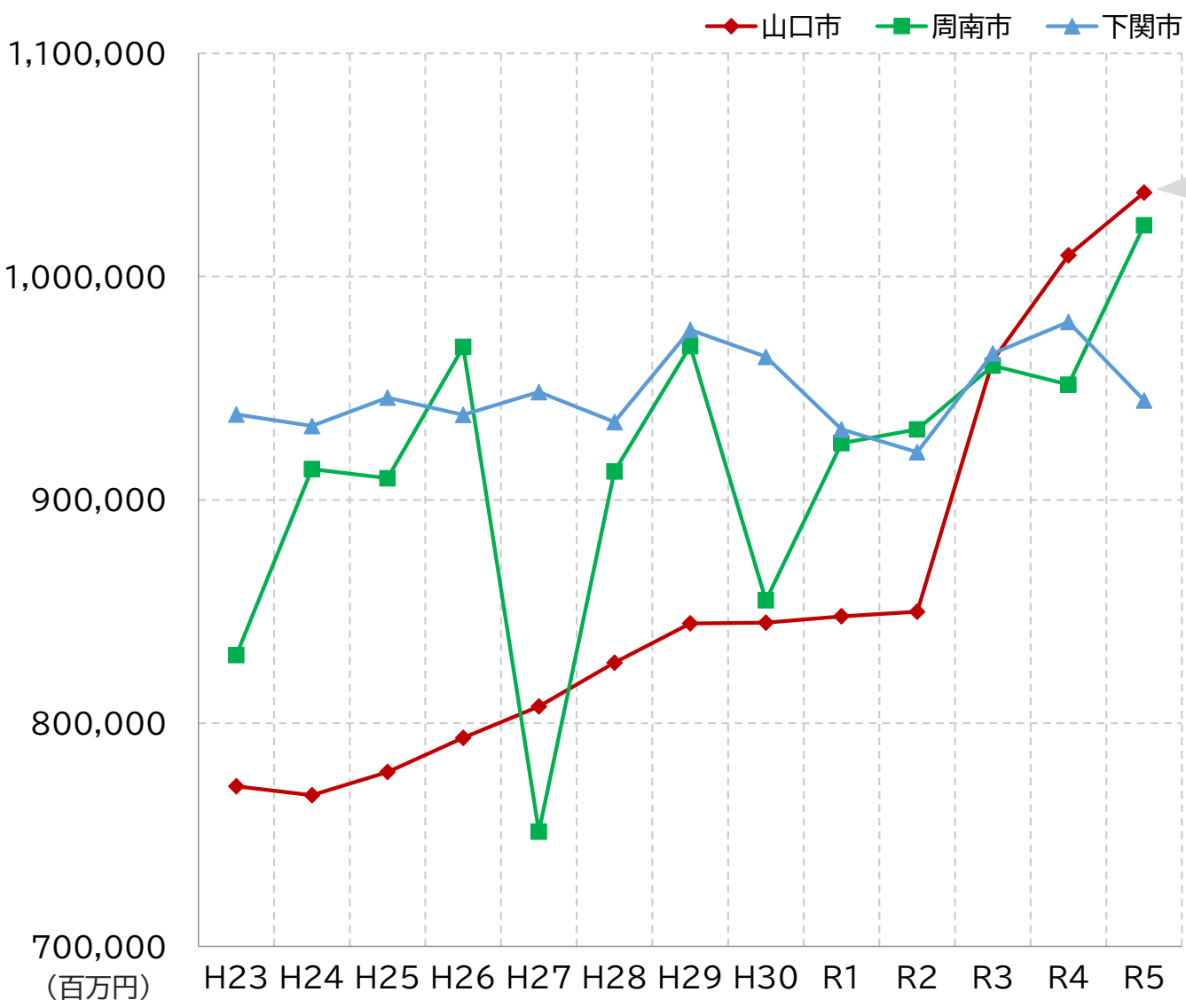
基準値 平成29年度 (2017年度)	実績値								目標値 令和9年度 (2027年度)
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	
77.4 ポイント	77.9 ポイント	77.9 ポイント	77.9 ポイント	79.2 ポイント	78.7 ポイント	78.7 ポイント	78.6 ポイント	79.2 ポイント	80.0 ポイント

3 県内都市との比較でみる山口市の姿

(1) 県央部・県東部・県西部の中核的な都市の人口推移



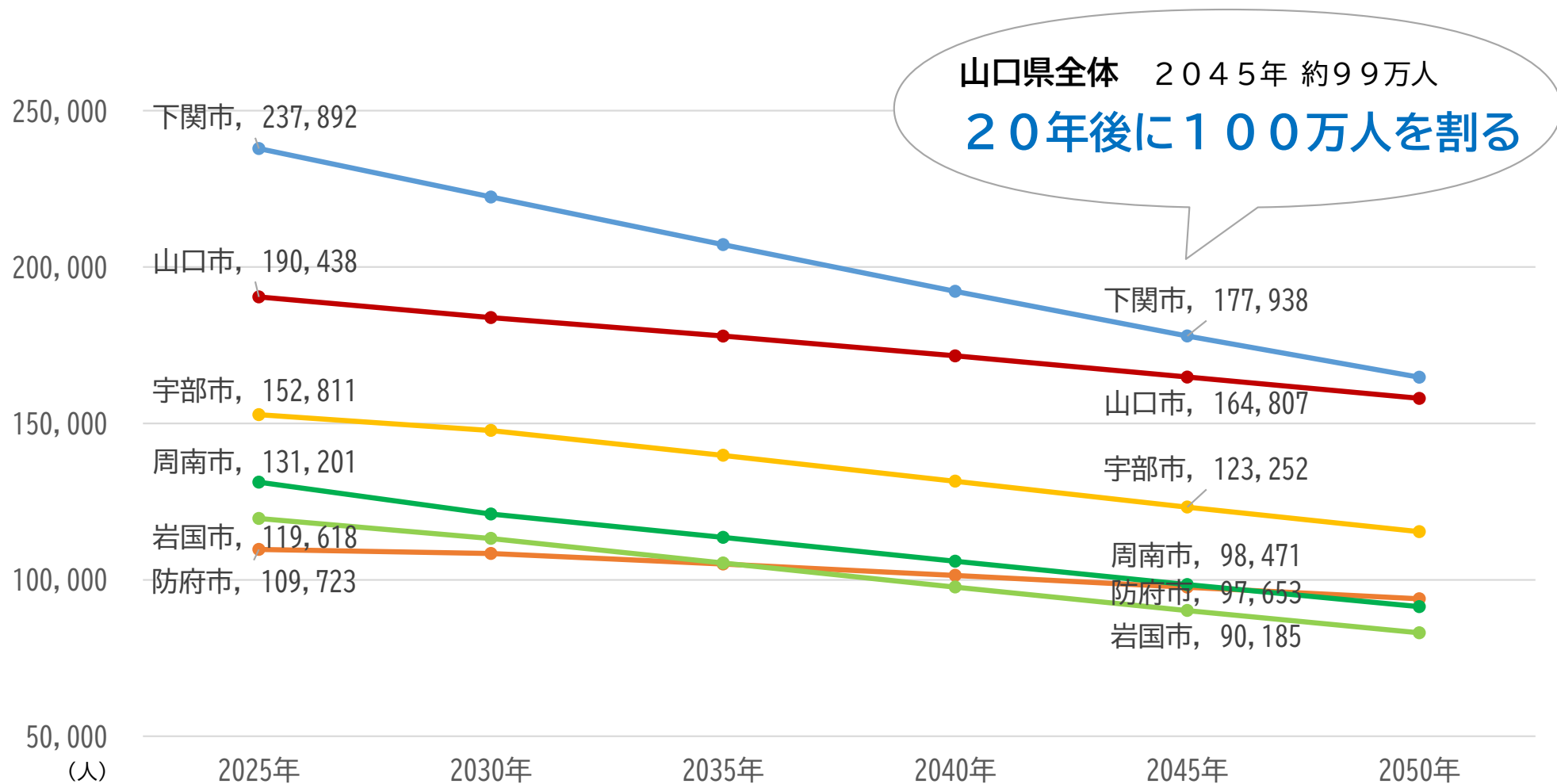
(2) 県内主要3市の市内総生産推移



4 将来推計人口

県内都市（人口10万人以上）の将来推計人口

（出典）2025年：令和7年国勢調査人口速報集計
2030年～：国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口 令和5（2023）年推計」



あらゆる分野における担い手不足を始めとした課題への対応の検討が必要

5 次期山口市総合計画における検討の方向性

人口減少時代にあっても

地域活力や経済活力にあふれた元気な山口の実現に向けて

「安全・安心」の
基盤づくり
プロジェクト

ずっと元気な
「地域づくり」
プロジェクト

ずっと元気な
「県都づくり」
プロジェクト

持続可能なまちづくりプロジェクト(公民連携、デジタル活用、公共施設等のマネジメント強化など…)

次期山口市総合計画

(仮称)「ずっと元気な山口プラン」の策定を進める

6 策定のテーマ

「みんなでつくる」総合計画

次期山口市総合計画の策定を以下の3つの視点のもとで進めていきます。

① 市民

市政の主役は、市民の皆様であるとの考え方のもと、対面での意見交換に加え、SNSを活用した情報分析やオンラインアンケートなど、多様な手法を取り入れ、若者や子育て世代を含むあらゆる世代の声を広くお伺いし、次期総合計画の策定を進めます。

② 地域

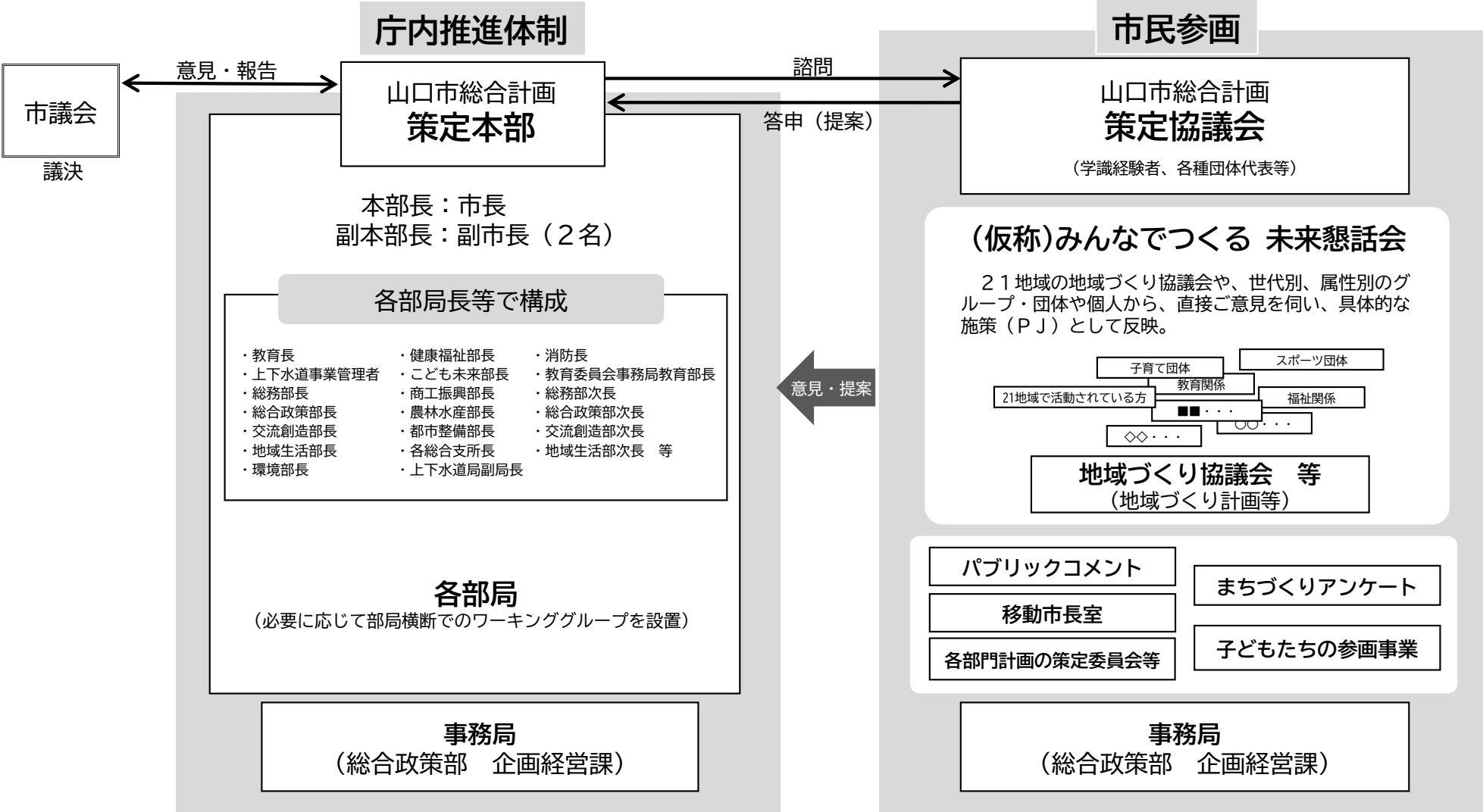
21の地域が持つそれぞれの個性や誇り、歴史をしっかりと尊重し、次世代へ受け継ぐことができるよう、ともにまちづくりを進めていただいている地域の皆様と情報交換を図り、次期総合計画の策定を進めます。

③ 職員

市役所全体が市民のサービスセンターとして、多様なニーズにどのように対応していくのか、また、本市の発展に向けたまちづくりをどのように進めていくのかについて、職員が主体的に考え、議論を深め、職員自らの手で次期総合計画の策定を進めます。

7 策定体制

庁内推進体制として、市長をトップとした策定本部を設置します。
また、市民参画による策定体制として、外部有識者等の委員による策定協議会を立ち上げるとともに、「(仮称)みんなでつくる 未来懇話会」を開催し、市内21地域や様々な団体との意見交換を進めます。



(1) 庁内推進体制

① 山口市総合計画策定本部

市長をトップとし、各部長級等を構成員とした策定本部について、第1回策定本部会議（令和8年5月22日）を開催しました。

② ワーキンググループ等

部局横断的な調整が必要となる場合や、重点施策・個別プロジェクトの具体化を図る必要がある場合に、ワーキンググループを設置します。

現在、立ち上げている主なWG（例）

- ・ 持続可能な観光地域づくりWG
- ・ 持続可能な行財政基盤づくりWG
- ・ 公共施設の見直し検討WG
- ・ 南部10,000人プロジェクトWG など

この他、検討状況に応じて随時設置していく予定です。

(2) 市民参画による策定体制

① 山口市総合計画策定協議会

外部有識者等の委員の皆様で構成する「山口市総合計画策定協議会」について、様々な分野から専門的な見地での御意見、御提言をいただきます。

② (仮称) みんなでつくる 未来懇話会

21地域の地域づくり協議会や、世代別、属性別のグループ・団体や個人から、直接御意見を伺います。

③ 市民意識調査

子育て世代や大学生等を対象に、子育てに関する状況や就職に対する考え方等についてアンケートを実施し、幅広く意見を伺います。

④ 高校生を対象とした移動市長室

将来のまちづくりを担う若者の声を直接聴き、ともにまちの将来を考える機会として若者を対象とした移動市長室を開催します。

⑤ 絵画コンクール (子どもたちの参画事業)

次代を担う子どもたちに「将来の山口市」について考えてもらうことや本市におけるふるさと体験を通じて、本市への愛着を育むことを目的として、絵画コンクールを開催します。

そのほか、次期総合計画や各部門計画の策定にあたり、必要に応じて各世代からの意見を伺います。

第二次山口市総合計画 後期基本計画策定時

② 共につくる未来懇話会



④ 高校生を対象とした移動市長室

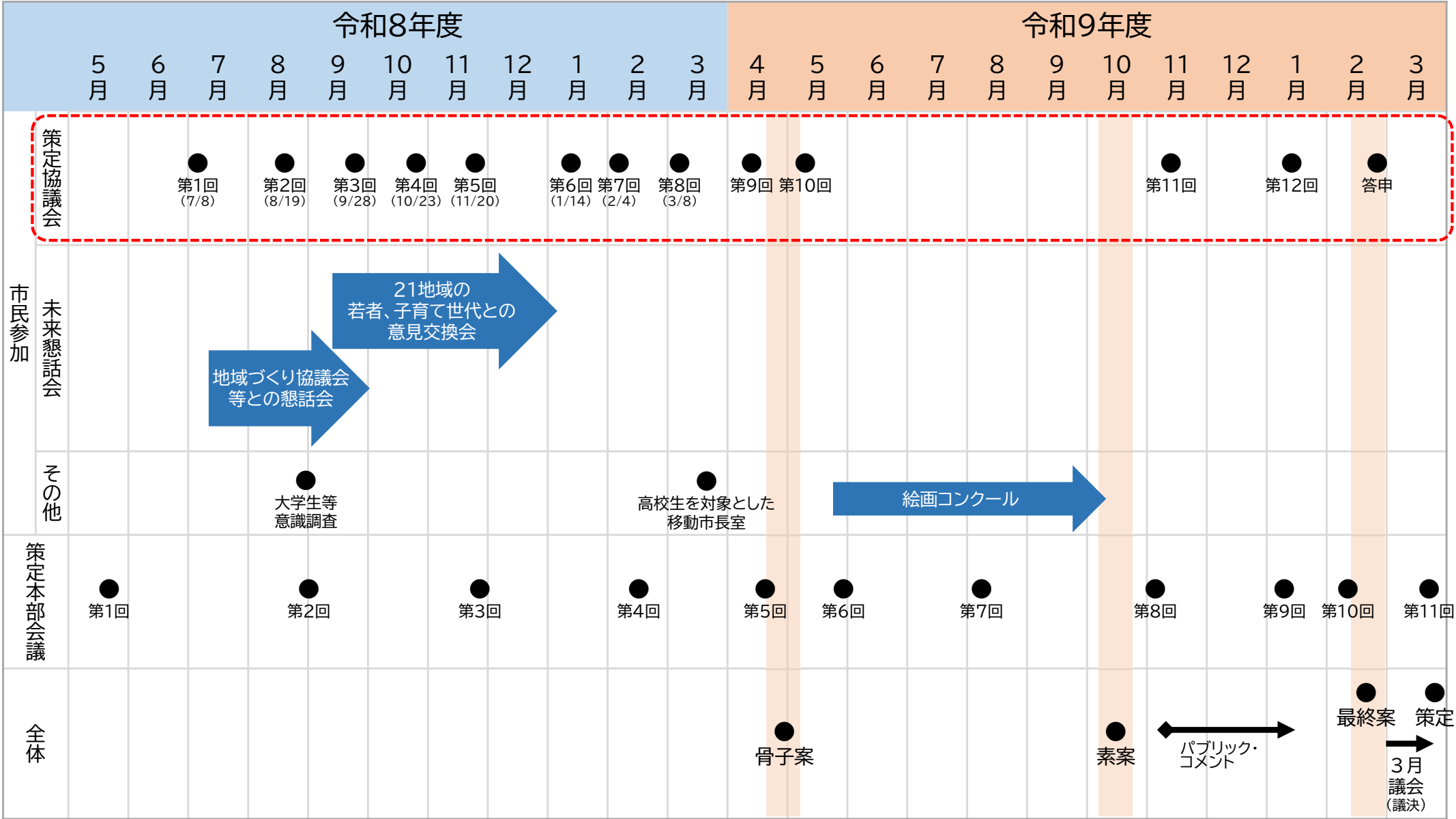


- ・未来懇話会等：46回開催、234人参加
- ・市民意識調査：14,000人を対象に実施
- ・絵画コンクール：579点の応募

今回も同程度
ご意見を伺う予定

8 策定スケジュール

(1) 全体スケジュール (予定)



(2) 山口市総合計画策定協議会の今後の予定

第1回	(令和8年 7月 8日(水) 13:30~15:30)	「(仮称)ずっと元気な山口プラン」の策定方針について
第2回	(令和8年 8月19日(水) 15:00~17:00)	現状分析(人口動態)、委員からの話題提供 (長谷川委員、藤井委員)
第3回	(令和8年 9月28日(月) 10:00~12:00)	まちづくりの状況、委員からの話題提供
第4回	(令和8年10月23日(金) 10:00~12:00)	まちづくりの状況、委員からの話題提供
第5回	(令和8年11月20日(金) 10:00~12:00)	まちづくりの状況、委員からの話題提供
第6回	(令和9年 1月14日(木) 15:00~17:00)	まちづくりの状況、委員からの話題提供
第7回	(令和9年 2月 4日(木) 15:00~17:00)	まちづくりの状況、委員からの話題提供
第8回	(令和9年 3月 8日(月) 15:00~17:00)	まちづくりの状況、委員からの話題提供
第9回	(令和9年 4月)	まちづくりの状況、委員からの話題提供
第10回	(令和9年 5月)	骨子案について、委員からの話題提供
第11回	(令和9年11月)	素案について
第12回	(令和10年 1月)	最終案について
	(令和10年 2月)	答申

第2回~第10回の協議会では、各回2名から資料提供を予定
(説明15分程度 質疑5分程度)